

Athletes [選手]

MEN



100m
4x100mR

Yoshihide KIRYU

桐生 祥秀

東洋大学(埼玉)

[彦根南中・滋賀→洛南高・京都]

●15 Dec. 1995 ●175cm・69kg ●Saitama Pref. ●Toyo Univ. ●10.01 0.9 (2013) / 10.05 1.6 (Top 2)

洛南高3年時の13年、織田記念100mで日本歴代2位、ジュニア日本新の10秒01をマーク。日本選手権で2位に入り、初出場の世界選手権では、100mこそ予選4着で落選したが、4x100mRの1走として6位に入賞した。200mでも20秒41の高校記録を持つ。今年3月の世界室内では、60mで準決勝に進出。東洋大に入学した今季、5月の関東インカレ100mを日本学生タイの10秒05で制覇すると、翌週の世界リレーでは日本の3走を務め、5位入賞に貢献。6月の日本選手権では、100mで優勝を果たした。

●主要競技会成績			
世界選手権	2013	100m:予選2組4着 / 4x100mR:6位(1走)	
世界リレー	2014	4x100mR:5位(3走)	
世界室内選手権	2014	60m:準決勝1組6着	
日本選手権	2014	100m:1位	
日本選手権	2013	100m:2位	
日本ジュニア選手権	2013	200m:1位	
日本ユース選手権	2012	100m:1位 / 200m:1位 / 4x100mR:2位(4走)	
日本ユース選手権	2011	100m:3位 / 4x100mR:1位(3走)	
全国高校総体	2013	100m:1位 / 200m:1位 / 4x100mR:1位(4走)	
全国高校総体	2012	100m:4位 / 200m:7位 / 4x100mR:3位(2走)	
全国高校総体	2011	4x100mR:4位(1走)	
全日本中学選手権	2010	200m:2位 / 4x100mR:8位(4走)	



100m
4x100mR

Takuya KAWAKAMI

川上 拓也

中央大学(千葉)

[泉谷中・千葉→東海大附浦安高・千葉]

●08 Jun. 1995 ●169cm・58kg ●Chiba Pref. ●Chuo Univ. ●10.40 1.1 (2013) / 10.45 1.8

中央大に進んだ今季、6月のアジアジュニア100m予選で、追い風3.0mの参考記録ながら10秒19の好走。決勝は10秒47(0.3)で金メダルを獲得した。高校3年時のベスト記録10秒40は更新していないが、6月までの3か月間で10秒4台5レースの安定感を見せている。中学時代は全日中の決勝進出はないが、東海大浦安高では、1年の国体少年Bで6位。2年時にはインターハイと国体少年Aで8位、日本ユース6位と、3大会ですべて入賞。3年時にはインターハイ6位、国体少年A4位と実績を残した。

●主要競技会成績		
アジアジュニア選手権	2014	100m:1位
日本ユース選手権	2012	100m:6位
全国高校総体	2013	100m:6位
全国高校総体	2012	100m:8位



200m
4x100mR

Yuki KOIKE

小池 祐貴

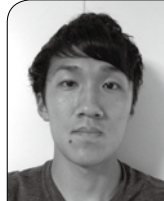
慶應義塾大学(北海道)

[立命館慶祥中・北海道→立命館慶祥高・北海道]

●13 May. 1995 ●172cm・72kg ●Hokkaido Pref. ●Keio Univ. ●20.61 0.6 (2014) / 20.61 0.6 (Top 8)

立命館慶祥高で力をつけ、1年から100mでインターハイの準決勝に進出。国体少年Bでは2位に入った。2年時にはインターハイで100m7位、200m5位。国体少年A100mで4位、日本ユースでも2種目で入賞し、トップレベルに。3年時には、インターハイ100m・200m、国体少年A100mですべて桐生祥秀に次いで2位だったが、日本ジュニア100mで初のタイトルを獲得した。慶應大入学後も、4月の東京六大学100mで10秒37の自己新、5月の静岡国際200mでジュニア歴代6位の20秒61をマークしている。

●主要競技会成績		
日本ジュニア選手権	2013	100m:1位 / 200m:2位
日本ユース選手権	2012	100m:2位 / 200m:3位
全国高校総体	2013	100m:2位 / 200m:2位
全国高校総体	2012	100m:7位 / 200m:5位



200m
4x100mR

Masaharu MORI

森 雅治

大東文化大学(神奈川)

[南加瀬中・神奈川→川崎橋高・神奈川]

●27 Jan. 1995 ●180cm・69kg ●Kanagawa Pref. ●Daito Bunka Univ. ●20.92 0.6 (2014) / 20.92 0.6

現在は100m・200mのスプリンターだが、川崎橋高では110mHにも取り組んでいた。高校2年の秋、日本ユース100mで6位に入賞して台頭。3年時には200mで21秒27をマーク。100m・200m・110mH・両リレーの5種目でインターハイに進み、国体少年A110mHで5位に入賞した。大東大1年時には、日本ジュニア200mで6位。2年目の今季は4月に100m10秒45の自己新。200mでは関東インカレの準決勝で20秒92の自己新、決勝で3位と健闘した。アジアジュニアは100mで5位、4x100mR優勝。

●主要競技会成績		
アジアジュニア選手権	2014	100m:5位
日本ジュニア選手権	2013	200m:6位
日本ユース選手権	2011	100m:6位 / 4x100mR:2位(2走)
全国高校総体	2012	4x100mR:6位(2走)



400m
4x400mR

Nobuya KATO

加藤 修也

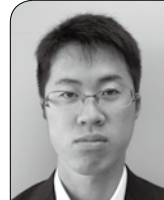
早稲田大学(静岡)

[豊岡中・静岡→浜名高・静岡]

●16 Apr. 1995 ●185cm・68kg ●Shizuoka Pref. ●Waseda Univ. ●45.69 (2013) / 46.21

浜名高で本格的に陸上を始め、2年時に急成長。5月に400mで当時高2歴代10位の47秒08をマーク、インターハイ3位、国体6位に入った。3年の5月に初めて46秒台に入ると、インターハイでは46秒11の大会新記録で優勝、4x400mRとの2冠を手にした。秋には国体と日本ジュニアも制し、11月に高校歴代2位となる45秒69の快走を見せた。今年3月には、世界室内の4x400mRに日本代表として出場。5月の関東インカレで優勝、6月の日本選手権で4位に入り、秋のアジア大会代表に選出されている。

●主要競技会成績		
世界室内選手権	2014	4x400mR:予選3組5位(3走)
日本選手権	2014	400m:4位
日本ジュニア選手権	2013	400m:1位
全国高校総体	2013	400m:1位 / 4x400mR:1位(4走)
全国高校総体	2012	400m:3位



400m
4x400mR

Kaisei YUI

油井 快晴

順天堂大学(静岡)

[大井川中・静岡→浜松市立高・静岡]

●06 Feb. 1996 ●177cm・68kg ●Shizuoka Pref. ●Juntendo Univ. ●46.76 (2013) / 46.78

中学では、200mで全日中に出場するも予選で敗れた。浜松市立高1年時はリレー、2年時はリレーと400mでインターハイに出場した。2年の秋に日本ユース400mで4位、東海高校新人で47秒68と力をつけ、3年時には5月に46秒92をマーク、400mとリレーで世界ユースに出場した。インターハイは加藤修也に次ぐ46秒79の好記録で2位。秋には46秒76と自己記録を縮めた。今季は5月の静岡国際で46秒78とベストに迫る好走、関東インカレで2位、4x400mRでは世界リレーに出場した。

●主要競技会成績		
世界リレー	2014	4x400mR:B決勝2位(1走)
世界室内選手権	2014	4x400mR:予選3組5着(2走)
世界ユース選手権	2013	400m:準決勝3組5着 / 100+200+300+400mR:3位(4走)
日本ジュニア選手権	2013	400m:2位
日本ユース選手権	2012	400m:4位
日本ユース選手権	2011	4x100mR:8位(2走)
全国高校総体	2013	400m:2位 / 4x400mR:3位(4走)



4x100mR

Wataru INUZUKA

犬塚 渉

浜名高校(静岡)

[浜松天竜中・静岡]

●08 Jul. 1997 ●181cm・58kg ●Shizuoka Pref. ●Hamana H.S. ●10.41 1.9 (2014) / 10.41 1.9

身長181cmの大型スプリンターで、100mから400mまでこなす。中学3年時には200mと400mで全日中の準決勝に進出。浜名高(静岡)では、1年時に4x400mRの3走としてインターハイ優勝。国体では少年B200mで2位、アンカーを任せられた4x100mRでも2位に入った。今季は5月に100mで10秒41と、前年までの10秒81から大幅に自己記録を更新、6月末現在で日本高校リストトップに立っている。200mでは、ユースオリンピックアジア予選で3位。6月の東海高校総体では、21秒25の自己新。

●主要競技会成績		
全国高校総体	2013	4x400mR:1位(3走)



4x400mR

Julian WALSH

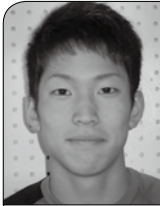
ウォルシュ・ジュリアン

東野高校(埼玉)

[東村山三中・東京]

●18 Sep. 1996 ●175cm・71kg ●Saitama Pref. ●Higashino H.S. ●46.98 (2014) / 46.98

昨年のインターハイ路線では、200mで県大会で予選落ちしたが、徐々に力をつけ、秋には400mで48秒台に。10月の関東高校新人を48秒74で制した。3年生になった今季は4月に48秒12、5月の埼玉県高校総体で47秒51、6月の北関東高校総体で46秒98と一気に伸ばし、インターハイの優勝候補に挙がる。200mでも、5月に向かい風1.9mのなか21秒63の自己新。北関東高校総体では21秒75で、400mと合わせて2冠を獲得し、勢いに乗っている。



4x400mR

Takamasa KITAGAWA
北川 貴理

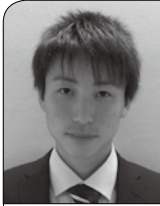
敦賀高校(福井)
〔栗野中・福井〕

●05 Sep. 1996 ●178cm・67kg ●Fukui Pref. ●Tsuruga H.S. ●46.98 (2013) / 47.16

敦賀高1年時には4×400mRでインターハイに出場。秋には北信越高校新人200mで2位、400mは48秒46で優勝した。2年時のインターハイでは、大会前のベストが48秒05だったが、本番で予選、準決勝、決勝ですべて47秒台をそろえ、準決勝で47秒40、決勝は47秒89で7位に入賞した。秋の国体では、高2歴代9位の46秒98で2位に躍進。日本ユースは200mで4位、400mで優勝した。福井県高校総体で47秒16、100m、200m、4×400mRと合わせて4冠を獲得した。

●主要競技会成績

日本ユース選手権	2013	200m:4位 / 400m:1位
全国高校総体	2013	400m:7位



5000m

Kazuto KAWABATA
川端 千都

東海大学(京都)
〔若浦中・京都→綾部高・京都〕

●20 Dec. 1995 ●175cm・55kg ●Kyoto Pref. ●Tokai Univ. ●13.54.80 (2014) / 13.54.80

綾部高1年時から3000mSCを始め、2年時のインターハイで高2歴代3位の8分55秒06で2位に入り、注目を集めた。秋には5000mで14分11秒08をマーク。3年時には5000mでインターハイ8位、国体3位、全国高校選抜10000mで2位に入った。1月の都道府県駅伝は1区2位、2月のアジアクロカン・ジュニア8km優勝と、トラック、ロード、クロカンのすべてで活躍。今季は5000mで13分台を2度記録、10000mも29分24秒98と自己記録を伸ばしている。関東インカレは5000m28位。

●主要競技会成績

全国高校総体	2013	5000m:8位
全国高校総体	2012	3000mSC:2位



5000m

Shota ONIZUKA
鬼塚 翔太

大牟田高校(福岡)
〔松浦志佐中・長崎〕

●13 Sep. 1997 ●166cm・48kg ●Fukuoka Pref. ●Omuta H.S. ●13.58.43 (2014) / 13.58.43

5月に5000mで高2歴代6位の13分58秒43をマーク、高校生で今季ただ1人、13分台で走っている。中学時代は全国大会不出場、3000m9分09秒69がベストだったが、長崎の中学から福岡の強豪・大牟田高に進んで急成長。1年でインターハイ5000m出場、国体少年B3000m2位、11月には5000mで高1歴代12位の14分19秒44をマークした。全国高校駅伝ではアンカーを任せられ、ラスト勝負に1秒差で敗れて優勝を逃したものの、自身は区間2位と好走。今季は安定感が上がり、スピードもついた。



10000m

Keisuke NAKATANI
中谷 圭佑

駒澤大学(兵庫)
〔上郡中・兵庫→西脇高・兵庫〕

●12 Jan. 1995 ●176cm・55kg ●Hyogo Pref. ●Komazawa Univ. ●28.30.52 (2014) / 28.30.52 (Top 4)

西脇工高時代から活躍。3年時には5000mでアジアジュニア3位、インターハイと国体で5位に入賞。都道府県駅伝1区では、2・3年時に連続区間賞を獲得した。駒大1年時には、日本インカレ10000mで5位入賞。出雲駅伝2区2位、全日本大学駅伝5区1位、箱根駅伝4区1位と強さを発揮した。2年生になった今季は、5月に5000mでジュニア歴代3位となる13分38秒08と自己記録を更新。関東インカレは2部10000mで2位。6月には10000mでジュニア歴代13位の28分30秒52、自己記録を30秒以上も縮めた。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2012	5000m:3位
日本ジュニア選手権(長距離・競歩)	2012	5000m:4位
日本学生好校選手権	2013	10000m:5位
全国高校総体	2012	5000m:5位



10000m

Hazuma HATTORI
服部 弾馬

東洋大学(埼玉)
〔中里中・新潟→仙台育英高・宮城→豊川高・愛知〕

●07 Feb. 1995 ●175cm・59kg ●Saitama Pref. ●Toyo Univ. ●28.55.31 (2014) / 28.55.31 (Top 10)

仙台育英高2年時に、3000mSCでインターハイ5位。3年時には転校に伴う高体連の規定によりインターハイに不出場だったが、全国高校駅伝は1区2位で、チームを優勝に導いた。東洋大では、1年時から関東インカレ1500mで6位入賞。上尾ハーフではジュニア歴代6位タイの1時間02分54秒をマーク、箱根駅伝7区区間賞と、長い距離でも結果を残した。今季は4月に10000m28分55秒31、関東インカレ5000mでは13分55秒47で8位と、ベストを更新。6月のアジアジュニアは10000mで金メダル。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	10000m:1位
日本ジュニア選手権(長距離・競歩)	2012	3000mSC:2位
全国高校総体	2011	3000mSC:5位



110mH

Taioh KANAI
金井 大旺

法政大学(北海道)
〔本通中・北海道→函館ラ・サール高・北海道〕

●28 Sep. 1995 ●179cm・67kg ●Hokkaido Pref. ●Hosei Univ. ●99.1cm:13.33 0.5 (2014) / 99.1cm:13.33 0.5 (Top 4)

中学3年時の全日中は予選落ちだったが、ジュニアオリンピックでは8位に入賞した。函館ラ・サール高では1年でインターハイに出場、国体少年Bで4位。2年時にはインターハイ7位、国体少年Aで6位、日本ユース2位と、世代トップレベルに。3年時にはインターハイ5位、国体では準決勝で14秒19の自己新、決勝は5位、日本ジュニアでも5位に入った。今季は5月に14秒10の自己新と好調。関東インカレ決勝はフライングで失格に終わったが、アジアジュニアの110mHでは13秒33のジュニア日本新で優勝した。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	110mH (99.1cm):1位
日本ジュニア選手権	2013	110mH (106.7cm):5位
日本ユース選手権	2012	110mH (99.1cm):2位
全国高校総体	2013	110mH (106.7cm):5位
全国高校総体	2012	110mH (106.7cm):7位



110mH

Masahiro KAGIMOTO
鍵本 真啓

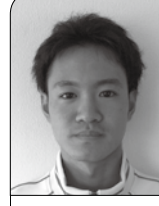
立命館大学(奈良)
〔八木中・奈良→平城高・奈良〕

●29 Sep. 1995 ●181cm・70kg ●Nara Pref. ●Ritsumeikan Univ. ●99.1cm:13.51 0.5 (2014) / 99.1cm:13.51 0.5 (Top 9)

中学時代から全日中6位の実力者。平城高(奈良)1年時の国体少年Bで2位、日本ユース6位。2年時はインターハイ、国体とも予選落ちに終わったが、日本ユースで優勝し、初タイトルを手にした。3年時はインターハイ近畿大会で14秒20の自己新をマークしたものの、全国は準決勝止まりだったが、国体で6位に入賞して面目を保った。立命大に進んだ今季は、関西インカレで14秒09と自己記録を更新して3位。アジアジュニア110mHでは、金井大旺に先着を許したが、13秒51と従来のジュニア日本記録を上回って3位。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	110mH (99.1cm):2位
日本ユース選手権	2012	110mH (99.1cm):1位
日本ユース選手権	2011	110mH (99.1cm):6位
全日本中学選手権	2010	110mH (91.4cm):6位



400mH

Yusuke SAKANASHI
坂梨 雄亮

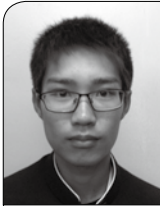
中央大学(静岡)
〔浜松南陽中・静岡→浜松西高・静岡〕

●26 Apr. 1995 ●174cm・59kg ●Shizuoka Pref. ●Chuo Univ. ●50.76 (2014) / 50.76 (Top 10)

中央大に入学した今季は絶好調。関東インカレ400mHでは、準決勝で51秒02と自己記録を更新、決勝も51秒15で5位入賞。アジアジュニアでは、50秒76とさらに自己記録を縮め、銅メダルを獲得した。中学時代は全日中110mHに出場したが予選落ち。浜松西高2年時の日本ユース110mHで6位に入り、頭角を現した。400mHは高校2年から開始。3年時は2種目でインターハイに出場し、110mHは準決勝で落選したが、400mHで8位に入った。国体は110mHで7位、日本ジュニアは400mHで6位だった。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	400mH:3位
日本ジュニア選手権	2013	400mH:6位
日本ユース選手権	2012	110mH (99.1cm):6位
全国高校総体	2013	400mH:8位



3000mSC

Kazuya SHIOJIRI

塩尻 和也

伊勢崎清明高校(群馬)
〔境北中・群馬〕

①08 Nov. 1996 ②169cm・51kg ③Gunma Pref. ④Iisesaki-Seimei H.S. ⑤8.48.32 (2014) / 8.48.32

6月の日本選手権で、高校歴代4位の8分48秒32をマークして7位。高校生としては、この種目で16年ぶりの入賞を果たした。高校2年生となった昨年に力を伸ばし、3000mSCでインターハイ5位入賞。5000mも14分26秒28まで伸ばし、都道府県駅伝1区では積極的なレースで区間12位と好走した。今季は4月に5000m14分20秒92と自己記録を更新。3000mSCでは4月に8分51秒65、5月の群馬県高校総体で8分49秒07と、いずれも独走で好記録をマーク。25年ぶりの高校記録更新に期待が懸かる。

●主要競技会成績			
日本選手権	2014	3000mSC	7位
全国高校総体	2013	3000mSC	5位



10000mW

Daisuke MATSUNAGA

松永 大介

東洋大学(神奈川)
〔浜中・神奈川→横浜高・神奈川〕

①24 Mar. 1995 ②174cm・57kg ③Kanagawa Pref. ④Toyo Univ. ⑤39.08.23 (2013) / 39.18.71 (Top 1)

5000mW、10000mW、10kmWでジュニア日本記録を持ち、日本競歩の次期エースとして期待されている。横浜高2年時のインターハイで、トップでゴールしながら失格になった経験をバネに、秋の国体で優勝。3年時にはインターハイと国体を制覇、10000mWで40分54秒53の高校最高をマークした。東洋大1年時には5000mW19分33秒11、10000mWで39分08秒23とジュニア記録を更新。今年4月には5000mWで19分28秒91と、自身のジュニア記録を塗り替えた。5月の関東インカレは、39分18秒71で初優勝。

●主要競技会成績			
ワールドカップ競歩	2014	10kmW	2位
アジアジュニア選手権	2012	10000mW	2位
日本選手権20km競歩	2014	20kmW	8位
日本学生対校選手権	2013	10000mW	4位
全国高校総体	2012	5000mW	1位



10000mW

Yuga YAMASHITA

山下 優嘉

東洋大学(富山)
〔桜井中・富山→富山商高・富山〕

①06 Feb. 1996 ②170cm・50kg ③Toyama Pref. ④Toyo Univ. ⑤41.32.23 (2014) / 41.32.23 (Top 2)

4月の全日本競歩ジュニア10kmで優勝、5月の関東インカレ10000mWでは41分32秒23の自己新で5位と、大学1年目から実績を残している。現在は競歩に専念しているが、富山商高時代は長距離選手としても有望で、5000mのベストは14分41秒14、全国高校駅伝、都道府県駅伝にも出場している。競歩では高校2年時の国体5000mWで9位。3年時には世界ユースの10000mWに出場し、42分07秒94で4位に入賞した。インターハイでは失格に終わったが、国体では20分40秒96の自己新で3位と雪辱した。

●主要競技会成績			
世界ユース選手権	2013	10000mW	4位



High Jump
走高跳

Daisuke NAKAJIMA

中島 大輔

日本大学(栃木)
〔皆川中・栃木→佐野日大高・栃木〕

①18 Apr. 1995 ②182cm・68kg ③Tochigi Pref. ④Nihon Univ. ⑤2.20 (2014) / 2.20 (Top 9)

中学時代から世代のトップで活躍するホープ。全日中は2・3年時に2連覇、3年時には中学歴代5位タイの2m06をクリアした。佐野日大高(栃木)1年時は全国大会での入賞はないが、2年時にはインターハイ4位。日本ユースで優勝を果たし、高校初タイトル。3年時には4月に2m15の自己新、インターハイと国体をダブル制覇した。今春、日大に進学。関東インカレで2m16と自己記録を1cm更新し、1年生チャンピオンに。6月の栃木県選手権では、ジュニア歴代13位タイに当たる2m20をクリア、自己記録を伸ばした。

●主要競技会成績			
日本ジュニア選手権	2013	走高跳	5位
日本ユース選手権	2012	走高跳	1位
全国高校総体	2013	走高跳	1位
全国高校総体	2012	走高跳	4位
全日本中学選手権	2010	走高跳	1位
全日本中学選手権	2009	走高跳	1位



High Jump
走高跳

Yu NAKAZAWA

中澤 優

富山商業高校(富山)
〔富山大沢野中・富山〕

①27 Aug. 1996 ②181cm・69kg ③Toyama Pref. ④Toyama Commercial H.S. ⑤2.16 (2014) / 2.16

今季は走高跳で自己記録の2m16を2度クリア、走幅跳でも7m37を2度マーク。専門は走高跳だが、今夏の山梨インターハイには走幅跳、三段跳と合わせ、跳躍3種目に出場予定。100mのスピードも持ち味。中学時代には走高跳と四種競技に取り組み、全日中に出場。富山商高進学後、1年時には跳躍のほか110mHでも富山県高校新人で3位に入った。2年時には走高跳と三段跳でインターハイに出場、走高跳では惜しくも入賞を逃したが9位。秋には国体5位、日本ユース2位に入賞、北信越高校新人は2m15に成功した。

●主要競技会成績			
日本ユース選手権	2013	走高跳	2位



Pole Vault
棒高跳

Kota SUZUKI

鈴木 康太

中京大学(愛知)
〔岡崎南中・愛知→岡崎城西高・愛知〕

①18 Dec. 1995 ②176cm・73kg ③Aichi Pref. ④Chukyo Univ. ⑤5.20 (2014) / 5.20

中学時代は4m20がベスト記録だったが、岡崎城西高1年時に日本ユース12位。2年時には東海大会7位でインターハイ出場を逃したが、9月に5m00をクリア、日本ユースでは4m90で優勝を果たした。3年時には、6月に5m10の自己新に成功。インターハイは10位で入賞できなかったが、国体では4m90で2位、日本ジュニアでは5m00で6位と実績を残した。中京大に進んだ今季は、東海インカレのオープンで4m80、日本学生個人選手権では5m00で5位に入賞した。

●主要競技会成績			
日本ジュニア選手権	2013	棒高跳	6位
日本ユース選手権	2012	棒高跳	1位



Long Jump
走幅跳

Shoutarou SHIROYAMA

城山正太郎

東海大学北海道(北海道)
〔本通中・北海道→函館大附右斗高・北海道〕

①06 Mar. 1995 ②178cm・60kg ③Hokkaido Pref. ④Tokai Univ. Hokkaido ⑤7.70 0.7 (2014) / 7.70 0.7

函館大附右斗高2・3年時出場したインターハイ(走幅跳と4×100mR)では予選落ちだったが、国体で7m31を跳んで5位に入賞した。地元・北海道の東海大に進み、1年で北海道インカレ、北日本インカレに優勝。北海道選手権、南部記念で自己記録を続けて更新すると、日本インカレでは7m45の自己新で7位に入った。今季は5月に7m54、7m63と連続自己新。北海道インカレでは追い参ながら7m74の好ジャンプを見せ、日本選手権でも8位。アジアジュニアでは、7m70の自己新で銅メダルを獲得した。

●主要競技会成績			
アジアジュニア選手権	2014	走幅跳	3位
日本選手権	2014	走幅跳	8位
日本ジュニア選手権	2013	走幅跳	4位
日本学生対校選手権	2013	走幅跳	7位



Long Jump
走幅跳

Kodai SAKUMA

佐久間滉大

法政大学第二高校(神奈川)
〔横浜豊田中・神奈川〕

①29 Apr. 1996 ②180cm・63kg ③Kanagawa Pref. ④Hosei Univ. Daini S.H.S. ⑤7.67 1.3 (2014) / 7.67 1.3

中学3年時には、走高跳で全日中7位、ジュニアオリンピック4位に入賞。法政二高では、1年からインターハイに出場した。同年秋には走幅跳でも頭角を現し、7m19をマーク。2年時は走幅跳でインターハイ10位、国体2位。日本ユースでは7m49で優勝を果たした。今季は神奈川県高校総体で、追い風3.7mの参考記録ながら7m80のビッグジャンプ、公認でも7m67の自己新をマークした。南関東高校総体でも追い風参考ながら7m83、走高跳でも自己新の2m04に成功した。スピードもあり、4×100mRでも活躍している。

●主要競技会成績			
日本ユース選手権	2013	走幅跳	1位 / 4×100mR: 4位(4走)
全日本中学選手権	2011	走高跳	7位



Triple Jump
三段跳

Ryoma YAMAMOTO

山本 凌雅

順天堂大学(長崎)

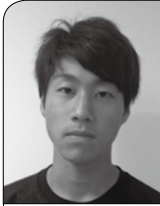
[高来中・長崎→諫早農高・長崎]

●14 Jul. 1995 ●178cm・63kg ●Nagasaki Pref. ●Juntendo Univ. ●16.10 0.8 (2013) / 16.02 1.1 (Top 10)

諫早農高2年時に、国体の三段跳で3位。3年時の昨年は、インターハイで走幅跳5位、三段跳は15m79の大会新記録で優勝した。秋の国体では高校生史上初の16m台となる16m10で優勝、日本ジュニアも制し、高校3冠を達成した。大学に進学した今季も順調で、織田記念では追い参で16m14、公認で15m97、関東インカレでも追い参で16m16、公認で16m02と16m台に乗せ、1年生優勝を果たした。初の日本選手権は10位。走高跳も2m02、走幅跳でも7m35のベスト記録を持つ。高校ではハードルにも取り組んでいた。

●主要競技会成績

日本ジュニア選手権	2013	三段跳: 1位
日本ユース選手権	2012	走幅跳: 2位 / 三段跳: 1位
日本ユース選手権	2011	三段跳: 4位
全国高校総体	2013	走幅跳: 5位 / 三段跳: 1位
全国高校総体	2012	走幅跳: 8位



Triple Jump
三段跳

Yugo TAKAHASHI

高橋 佑悟

立命館大学(大阪)

[桜丘中・大阪→大阪桜宮高・大阪]

●08 Feb. 1996 ●186cm・68kg ●Osaka Pref. ●Ritsumeikan Univ. ●15.84 0.0 (2014) / 15.84 0.0

桜宮高では三段跳だけでなく、短距離やハードル種目にも出場、400mHにも取り組んでいた。2年時の秋に三段跳で成長を見せ、近畿高校ユースで14m94をマーク。日本ユースでは14m62で6位に入賞した。3年生になった昨年、近畿高校総体で15m49の自己新、インターハイは15m12で6位、国体は15m16で3位に入賞、日本ジュニアは11位だった。立命大に進んだ今季は、関西インカレでジュニア歴代13位タイの15m84を跳んで1年生チャンピオンに輝いた。安定感も上がっている。

●主要競技会成績

日本ユース選手権	2012	三段跳: 6位
全国高校総体	2013	三段跳: 6位



Javelin Throw
やり投

Shu MORI

森 秀

今治明德高校(愛媛)

[北郷中・愛媛]

●14 Nov. 1996 ●181cm・85kg ●Ehime Pref. ●Imabarimeitoku H.S. ●74.20 (2014) / 74.20 (Top 3)

やり投の高校記録(76m54)保持者で、日本の第一人者である村上幸史の今治明德高の後輩。今年4月に72m40、5月には高校歴代3位の74m20をマーク。高校生ながら日本選手権に出場し、71m48で9位と、今後の高校記録更新が期待されている。高校1年からやり投でインターハイに出場、日本ユースでは高1最高の63m59で3位に入った。2年時には世界ユースで10位に入った。今季は円盤投でも、45m37 (1.750kg)をマークしている。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2013	やり投(700g): 10位
日本ユース選手権	2012	やり投(800g): 3位



Javelin Throw
やり投

Takuto KOMINAMI

小南 拓人

国士舘大学(北海道)

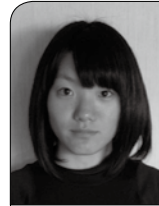
[札幌屯田中央中・北海道→札幌一高・北海道]

●26 Jul. 1995 ●172cm・80kg ●Hokkaido Pref. ●Kokushikan Univ. ●71.95 (2014) / 71.95

札幌一高2年時に、インターハイで決勝に進んで17位。秋には北海道高校新人で64m01、日本ユースでは63m29で4位に入った。3年時には、北海道高校総体で70m26と初の70m超え。インターハイでは、70m42の道高校新記録で優勝を果たした。秋の国体は64m41で5位、日本ジュニアで11位。今季は初戦から63m95、65m22と徐々に調子を上げ、関東インカレで71m95の自己新をマークして4位に入賞した。高校時代は砲丸投や円盤投に出場しているほか、4×100mRの1走を務めたこともある。

●主要競技会成績

日本ユース選手権	2012	やり投(800g): 4位
全国高校総体	2013	やり投(800g): 1位



**100m
200m
4×100mR**

Anna DOI

土井 杏南

大東文化大学(埼玉)

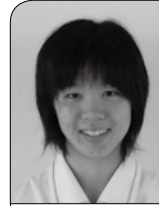
[朝霞一中・埼玉→埼玉栄高・埼玉]

●24 Aug. 1995 ●158cm・50kg ●Saitama Pref. ●Daito Bunka Univ. ●100m: 11.43 1.8 (2012) / 11.57 1.5; 200m: 23.63 1.8 (2014) / 23.63 1.8

中学3年時に、全日中100mを11秒61の中学新で連覇。埼玉栄高に進学した11年には、日本選手権4位、世界ユース出場、インターハイでも優勝した。2年時の5月には100m11秒43のジュニア新、200mで23秒83の当時ユース最高を樹立。日本選手権100mで2位に入り、戦後最年少の16歳でロンドンオリンピックの4×100mRに出場した。3年時の昨年はインターハイ、国体、日本ジュニアで3冠を獲得。今季は静岡国際200mでジュニア歴代2位の23秒63をマーク、100mでは関東インカレ優勝、日本選手権2位。

●主要競技会成績

オリンピック	2012	4×100mR: 予選1組8着(1走)
世界ユース	2014	4×100mR: 予選3組6着(2走)
世界ユース選手権	2011	100m: 準決勝1組3着 / 100+200+300+400mR: 予選3組4着(3走)
東アジア大会	2013	100m: 4位 / 4×100mR: 2着(1走)
日本選手権	2014	100m: 2着 / 2013 100m: 3位 / 2012 100m: 2位 / 2011 100m: 4位
日本ユース選手権	2013	100m: 1位 / 200m: 2位
日本ユース選手権	2012	100m: 1位 / 4×100mR: 1位(4走)
日本ユース選手権	2011	100m: 1位 / 4×100mR: 4位(4走)
全国高校総体	2013	100m: 1位 / 4×100mR: 1位(4走)
全国高校総体	2011	100m: 1位 / 200m: 3位 / 4×100mR: 3位(4走)
全日本中学選手権	2010	100m: 1位 / 4×100mR: 1位(4走)
全日本中学選手権	2009	100m: 1位 / 4×100mR: 1位(4走)
全日本中学選手権	2008	4×100mR: 6位(4走)



**100m
4×100mR**

Sayaka ADACHI

足立 紗矢香

大分雄城台高校(大分)

[大分滝尾中・大分]

●26 Jun. 1996 ●157cm・50kg ●Oita Pref. ●Oitaoginodai H.S. ●11.66 1.8 (2014) / 11.66 1.8

中学2年時に全日中100mで準決勝に進出、ジュニアオリンピックBクラスで2位。3年時には100mで全日中3位、国体少年Bで7位、ジュニアオリンピックAクラスで2位に入った。10月には12秒10の自己新。大分雄城台高(大分)に進み、1年時にインターハイと日本ユースの100mで準決勝に進出。2年時の昨年、インターハイでは100m、200mとも準決勝止まりだったが、秋の日本ユース100m準決勝で11秒87の自己新、決勝は11秒95で優勝を果たした。今年4月には、高校歴代6位タイの11秒66をマーク。日本選手権にも出場した。

●主要競技会成績

日本ユース選手権	2013	100m: 1位
日本ユース選手権	2012	4×100mR: 5位(2走)
全日本中学選手権	2011	100m: 3位



**200m
4×100mR**

Tomoka TSUCHIHASHI

土橋 智花

岩手大学(岩手)

[見前中・岩手→盛岡女高・岩手]

●12 Jun. 1995 ●165cm・54kg ●Iwate Pref. ●Iwate Univ. ●24.12 1.7 (2010) / 24.16 0.9

200mを得意としており、中学3年時の全日中で24秒12の驚異的な中学新で優勝。国体少年B100mでは7位に入った。高校では、1年時に国体少年B100mで8位。2年時のインターハイでは、100mは準決勝落ちだったが、200mで2位と復活した。3年時のインターハイも100mは準決勝止まりだったが、200mは5位。国体少年A100mでは12秒00の自己新で4位、4×100mRで優勝した。岩手大に進んだ今季、東北インカレの100m・200m・4×100mRで3冠。日本選手権200mでは、自己記録に迫る24秒16で4位に入賞した。

●主要競技会成績

日本選手権	2014	200m: 4位
全国高校総体	2013	200m: 5位
全国高校総体	2012	200m: 2位
全日本中学選手権	2010	200m: 1位
全日本中学選手権	2009	200m: 7位 / 4×100mR: 5位(2走)



4×100mR

Maho TAKAMORI

高森 真帆

青山学院大学(東京)

[有馬中・神奈川→東京高・東京]

●19 Feb. 1996 ●160cm・52kg ●Tokyo Pref. ●Aoyama Gakuin Univ. ●11.75 1.8 (2014) / 11.75 1.8

中学3年の全日中100m、200mと国体少年B100mは準決勝止まりだったが、ジュニアオリンピックA200mで8位。東京高(東京)1年で日本ユース200m 6位。関東高校新人の4×100mRでは3走を務め、46秒22の当時ユース最高をマークした。2年時のインターハイは個人、リレー合わせて4種目に入賞。3年時はインターハイ100mと4×100mRで入賞。国体少年A100m 8位、日本ジュニアも2種目入賞した。今季は4月の織田記念で100m11秒75の自己新。関東インカレ100m 4位、200mは24秒26の自己新で2位に入った。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	100m: 6位
日本ジュニア選手権	2013	100m: 5位 / 200m: 7位
日本ユース選手権	2011	200m: 6位
全国高校総体	2013	100m: 8位 / 4×100mR: 4位(2走)
全国高校総体	2012	100m: 5位 / 200m: 6位 / 4×100mR: 1位(3走) / 4×400mR: 6位(2走)



800m

Ryoko HIRANO

平野 綾子

筑波大学(神奈川)

[田浦中・神奈川→横須賀高・神奈川]

①03 Mar. 1995 ②166cm・47kg ③ Kanagawa Pref. ④Univ. of Tsukuba 2.05.16 (2012) / 2.06.75

横須賀高2年時に頭角を現し、インターハイ400m・800mに出場。日本ユースの800mを制した。3年時には、インターハイ800mで高校歴代4位の2分05秒16をマークして優勝。筑波大に進んだ昨季は、関東インカレ8位、日本インカレ準決勝落ち、日本ジュニア4位と、タイトルを取れなかったが、2年目の今季は関東インカレ4位、アジアジュニアでは2分06秒75で金メダルを獲得、日本学生個人選手権に優勝。400mも55秒台のスピードがある。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	800m:1位
日本ジュニア選手権	2013	800m:4位
日本ユース選手権	2011	800m:1位
日本学生対校選手権	2013	4×400mR:8位(2走)
全国高校総体	2012	800m:1位



3000m

Nozomi Musembi TAKAMATSU

高松 望ムセンビ

大阪薫英女学院高校(大阪)

[大阪薫英女学院中・大阪]

①31 Aug. 1997 ②159cm・42kg ③Osaka Pref. ④Osaka Kun-ei S.H.S ⑤9.08.22 (2013) / 9.10.08

中学1年時に800m 2分13秒14、1500m 4分28秒03、3000m 9分22秒9と、3種目で中1最高を樹立。2年時には、全日中1500mの中2最高の4分21秒24で制した。3年時には、近畿中学総体1500mで中学歴代3位の4分20秒64、全日中2連覇、ジュニアオリンピック3000mでは中学歴代4位の9分13秒43で優勝。都道府県駅伝3区では区間新をマークした。高校1年時の昨年は、インターハイ3000mで高1歴代3位の9分08秒22で5位。今季は兵庫リレー1500mで4分18秒01の自己新、ユースオリンピックアジア予選は3000m 2位。

●主要競技会成績

全国高校総体	2013	3000m:5位
全日本中学選手権	2012	1500m:1位
全日本中学選手権	2011	1500m:1位



3000m

Nao YAMAMOTO

山本 菜緒

常葉学園菊川高校(静岡)

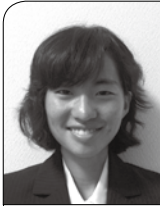
[浜松三ヶ日中・静岡]

①20 Oct. 1996 ②155cm・39kg ③Shizuoka Pref. ④Tokoha Gakuen Kikugawa S.H.S. ⑤9.10.39 (2014) / 9.10.39

6月の東海高校総体では、1500m 4分22秒24で4位、3000m 9分10秒39で優勝。2種目で自己記録を塗り替え、好調を維持している。中学3年時に全日中1500mで8位、国体少年B1500mで8位。ジュニアオリンピックA3000mでは、当時中学歴代9位の9分23秒49で2位に入った。常葉菊川高に進み、1年目は静岡県高校総体1500m 7位で落選したが、国体少年Bでは決勝進出。2年時の昨年は、インターハイ3000mで決勝に進んで16位。9月に3000mで9分12秒22、10月には5000mで16分08秒19をマークした。

●主要競技会成績

全日本中学選手権	2011	1500m:8位
----------	------	----------



5000m

Maki IZUMIDA

出水田 眞紀

立教大学(神奈川)

[浜中・神奈川→白鷗女高・神奈川]

①22 Jan. 1996 ②152cm・41kg ③Kanagawa Pref. ④Rikkyo Univ. ⑤15.38.22 (2013) / 15.50.26 (Top 6)

高校1年時に国体少年B1500mで6位、全国高校駅伝2区8位。2年時にはインターハイ1500m11位、3000m 8位、国体少年A3000mで4位に入った。3年時には、1500mで日本選手権7位、世界ユース8位に入賞。インターハイでは、1500mで4分17秒74の自己新で8位、3000mでも9分07秒97の自己新で日本人2番手の4位に入った。11月には、5000mで高校歴代8位の15分38秒22をマーク。今季は5000mで関東インカレ2位、日本選手権10位、アジアジュニアで金メダルを手にした。両親ともに元長距離ランナー。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2013	1500m:8位
世界クロカン選手権	2013	Junior 6km:29位 / Junior 団体:4位
アジアジュニア選手権	2014	5000m:1位
日本選手権	2013	1500m:7位
全国高校総体	2013	1500m:8位 / 3000m:4位
全国高校総体	2012	3000m:8位



5000m

Fuyuka KIMURA

木村 美有加

大東文化大学(山形)

[上山南中・山形→山形城北高・山形]

①13 Jan. 1995 ②168cm・49kg ③Yamagata Pref. ④Daito Bunka Univ. ⑤15.51.11 (2014) / 15.51.11 (Top 7)

山形城北高では、1年でインターハイ1500mに出場。国体少年B1500mでは、6位に入賞した。2年時にはインターハイ800mで8位、1500mで9位と健闘。国体少年A3000mでは、当時高2歴代9位の9分09秒18で4位に入った。3年時にはインターハイに進むことができなかったが、ロードでは好走。大東大進学後は距離を伸ばし、1年時の昨年は全日本大学駅伝3区2位、富士山女子駅伝1区5位。今年3月には世界大学クロカンに出場した。5月の関東インカレ5000mでは、15分51秒11の自己新で3位に入った。

●主要競技会成績

世界大学クロカン選手権	2014	Senior 6km:5位 / Senior 団体:2位
全国高校総体	2011	800m:8位



400mH

Akiko ITO

伊藤 明子

筑波大学(東京)

[田園調布中・東京→田園調布学園高・東京]

①26 May. 1995 ②169cm・55kg ③Tokyo Pref. ④Univ. of Tsukuba ⑤58.80 (2014) / 58.80

中学では走高跳と四種競技が中心で、両種目で全日中に出場。高校では2年目に飛躍を遂げ、七種競技で日本選手権ジュニアの部で優勝。インターハイは当時高2歴代2位の5129点をマークして4位入賞。秋の日本ジュニアでは、400mH予選で高2歴代7位の59秒36をマーク。3年時のインターハイは七種競技で4位と連覇を逃したが、400mHで優勝。国体少年A400mでは、当時高校歴代9位の53秒83と快走、走高跳は成年の部に出場して3位に入った。今季は400mHで関東インカレ2位、アジアジュニアは58秒80の自己新で金メダル。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	400mH:1位
日本選手権(混成競技)	2014	七種競技:5位
日本ジュニア選手権	2013	400mH:1位 / 走高跳:6位
日本ジュニア選手権	2012	400mH:3位
日本ジュニア選手権(混成競技)	2012	七種競技:1位
全国高校総体	2013	400mH:1位 / 七種競技:4位
全国高校総体	2012	七種競技:1位



10000mW

Rena GOTO

五藤 怜奈

中部学院大学(岐阜)

[境川中・岐阜→済美高・岐阜]

①06 Sep. 1995 ②160cm・41kg ③Gifu Pref. ④Chubu Gakuin Univ. ⑤46.15. (10km W/2014) / 46.15. (10kmW)

中学時代から、競歩と長距離に取り組んでいた。済美高で本格的に競歩の指導を受け、1年目に東海高校総体5000mWで7位。2年時には、インターハイで23分39秒96の自己新をマークして4位入賞。3年時の7月には23分11秒45と自己記録を更新したが、その後のインターハイでは予選で失格。今年2月のジュニア選抜競歩では、ジュニア5kmWで優勝。大学に入ってから負け知らずで、4月の全日本競歩ジュニア10kmW、東海インカレと日本学生個人選手権の10000mWで優勝した。

●主要競技会成績

日本ユース選手権(長距離・競歩)	2012	5000mW:5位
全国高校総体	2012	5000mW:4位



10000mW

Kana MINEMURA

峰村 かな

久喜高校(埼玉)

[幸手東中・埼玉]

①12 May. 1996 ②153cm・43kg ③Saitama Pref. ④Kuki H.S. ⑤47.26. (10kmW/2014) / 47.26. (10kmW)

高校1年時に競歩を始め、2月には日本選手権競歩ジュニア5kmWで9位と適性を発揮。2年時にはインターハイ5000mWで8位に入賞、秋には23分43秒46と自己記録を伸ばした。今年元旦競歩の高校5kmWで優勝、2月のジュニア選抜競歩5kmWでは4位に入った。3年生になってからは、4月の全日本競歩ジュニア10kmWで2位。5月には23分22秒40の自己新をマーク、6月の北関東高校総体でも2位を1分以上引き離す圧勝。コンスタントに23分台を出しており、インターハイでも優勝候補に挙がる。

●主要競技会成績

全国高校総体	2013	5000mW:8位
--------	------	-----------



Long Jump 走幅跳

Yumi UCHINOKURA

内之倉由美

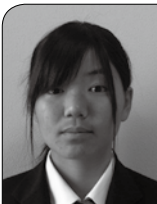
甲南高校(鹿児島)
〔西紫原中・鹿児島〕

①10 Oct. 1996 ②158cm・45kg ③Kagoshima Pref. ④Konan H.S. ⑤6.16 1.6 (2014) / 6.16 1.6

5月の鹿児島県高校総体で6m16の自己新をマーク、6月の南九州高校総体でも6m04と、6m台を連発している。中学2年時に走幅跳で全日中に出場、ジュニアオリンピックBクラスで2位。3年時の全日中は走幅跳で6位、100mHでも8位。国体少年B走幅跳では2位に入った。甲南高(鹿児島)1年で、100mH、走幅跳、4×100mRの3種目でインターハイに出場、国体少年B100mH、走幅跳でともに5位に入賞した。2年時にも、前年と同じ3種目でインターハイに出場。秋の日本ジュニアでは走幅跳で6位に入賞した。

●主要競技会成績

日本ジュニア選手権	2013	走幅跳: 6位
全日本中学選手権	2011	100mH (76.2cm 8.0m): 8位 / 走幅跳: 6位



Javelin Throw やり投

Shiori TOMA

當間 汐織

九州共立大学(沖縄)
〔仲里中・沖縄→久米島高・沖縄〕

①07 Feb. 1996 ②164cm・64kg ③Okinawa Pref. ④Kyushu Kyoritsu Univ. ⑤55.75 (2014) / 55.75 (Top 9)

大学に入った今季は絶好調。2戦目の織田記念で54m43と自己記録を更新すると、九州インカレも54m13の大会新で優勝。翌日の沖縄選手権で52m46、その翌週の記録会で54m10。6月の日本選手権では53m29で4位に入賞、翌週のアジアジュニアでは学生歴代7位、ジュニア歴代6位の55m75をマークして金メダルを獲得。抜群のアベレージを誇る。高校2年時にインターハイ、国体に出場。日本ユースで7位入賞。3年時はインターハイ8位、国体では高校歴代8位の53m14で3位、日本ジュニアも52m40で2位に入った。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2014	やり投(600g): 1位
日本選手権	2014	やり投(600g): 4位
日本ジュニア選手権	2013	やり投(600g): 2位
日本ユース選手権	2012	やり投(600g): 7位
全国高校総体	2013	やり投(600g): 8位



Javelin Throw やり投

Kiho KUZE

久世 生宝

筑波大学(岡山)
〔琴浦中・岡山→倉敷中央高・岡山〕

①28 Mar. 1995 ②166cm・63kg ③Okayama Pref. ④Univ. of Tsukuba ⑤58.98 (2013) / 54.16

倉敷中央高(岡山)3年時、日本選手権で56m84のユース最高記録を樹立して5位。だが、インターハイは4位、国体も2位とタイトルを取れなかった。筑波大に進んだ昨年、関東インカレで1年生チャンピオンに。日本選手権では日本歴代5位、ジュニア日本新の58m98をマークして2位に入り、アジア選手権で6位に入賞した。日本インカレでは56m35の大会新記録で頂点に。関東インカレで2連覇。日本選手権9位。七種競技でも4533点のベストを持ち、100m12秒57のスピードがある。

●主要競技会成績

世界ジュニア選手権	2012	やり投(600g): 予選A組15位
アジアジュニア選手権	2013	やり投(600g): 6位
日本選手権	2013	やり投(600g): 2位
日本選手権	2012	やり投(600g): 5位
日本ジュニア選手権	2013	やり投(600g): 4位
日本ジュニア選手権	2012	やり投(600g): 4位
日本ユース選手権	2011	4×100mR: 3位(1走) / やり投(600g): 6位
日本学生対校選手権	2013	やり投(600g): 1位
全国高校総体	2012	やり投(600g): 4位